

ハンドレンジの解説

テキサスホールデム【入門編】

ハンドレンジとは

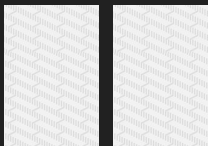
あるプレイヤーが持ち得るであろうハンドの組み合わせのこと



前回のハンドで、少なくとも、相手のハンドレンジは AJ+であることがわかる

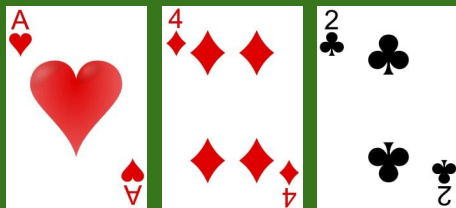
ハンドレンジがわかると何がいいのか

ハンドが
A4, A2の
確率は低い

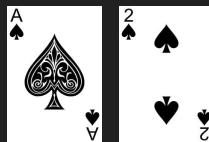


Aさんのハンド

ボード(コミュニティカード)



あなたのハンド



ここまでで、わかること

- ・相手のハンドはどんどん見よう
- ・自分のハンドは極力見せてはいけない

次は、

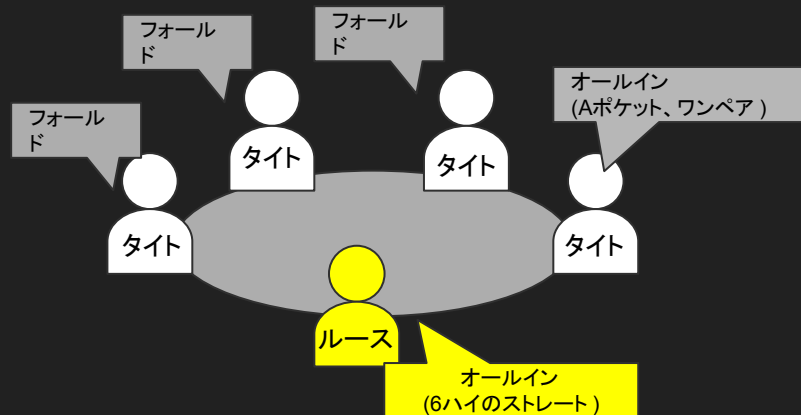
ハンドレンジからわかる
相手のプレイスタイル

相手のプレイスタイルの種類

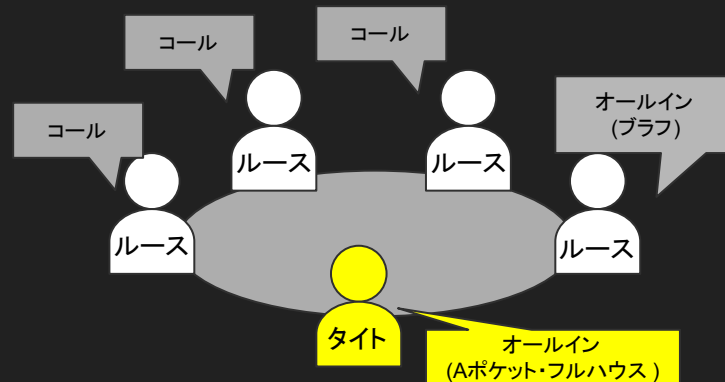
種類	概要説明	具体的なハンドレンジ
タイト (tight)	タイトにプレイするとは、ゲームに参加する回数が少なく、また早めにフォールドするプレイスタイルのことです。 → <u>ハンドレンジが狭い。</u>	AJ+(AJ, AQ, AK, AA)
ルース (loose)	ルースにプレイするのは、標準より多数のハンドをプレイし、またなかなか降りないことです。 → <u>ハンドレンジが広い。</u>	A2+(A2, A3, A4, A5, A6, A7, A8, A9, AT, AJ, AQ, AK, AA)

各プレイスタイルの利点

タイトなテーブル



ルースなテーブル



タイトなテーブルではルースに、ルースなテーブルではタイトにプレイすることがコツ

次は、

スターティング ハンドの勝率

スターティングハンドの勝率 (VSランダムハンド)

VSランダムハンド時の勝率表

	A	K	Q	J	T	9	8	7	6	5	4	3	2
A	AA	AKs	AQs	AJs	ATs	A9s	A8s	A7s	A6s	A5s	A4s	A3s	A2s
K	AKo	KK	KQs	KJs	KTs	K9s	K8s	K7s	K6s	K5s	K4s	K3s	K2s
Q	AQo	KQo	QQ	QJs	QTs	Q9s	Q8s	Q7s	Q6s	Q5s	Q4s	Q3s	Q2s
J	AJo	KJo	QJo	JJ	JTs	J9s	J8s	J7s	J6s	J5s	J4s	J3s	J2s
T	ATo	KTo	QTo	JTo	TT	T9s	T8s	T7s	T6s	T5s	T4s	T3s	T2s
9	A9o	K9o	Q9o	J9o	T9o	99	98s	97s	96s	95s	94s	93s	92s
8	A8o	K8o	Q8o	J8o	T8o	98o	88	87s	86s	85s	84s	83s	82s
7	A7o	K7o	Q7o	J7o	T7o	97o	87o	77	76s	75s	74s	73s	72s
6	A6o	K6o	Q6o	J6o	T6o	96o	86o	76o	66	65s	64s	63s	62s
5	A5o	K5o	Q5o	J5o	T5o	95o	85o	75o	65o	55	54s	53s	52s
4	A4o	K4o	Q4o	J4o	T4o	94o	84o	74o	64o	54o	44	43s	42s
3	A3o	K3o	Q3o	J3o	T3o	93o	83o	73o	63o	53o	43o	33	32s
2	A2o	K2o	Q2o	J2o	T2o	92o	82o	72o	62o	52o	42o	32o	22

o: Off-suit s: Suited

勝率表の特徴

- ・ポケットは強い
- ・左上に行くほど強くなる
- ・A6とA5はスーテッドもオフスートも同じ勝率
- ・同じハンドでもスーテッドとオフスートでは約 3 %スーテッドハンドが上昇

全部覚えるのではなく、ざっくりとどんな勝率同士が勝負し合っているのか把握しておく。

まとめ

- ・相手のハンドレンジを覚えよう！
- ・自分のハンドレンジは知らせるな！
- ・タイトとルースを使い分けよう！
- ・スターティングハンドの勝率表をざっくり覚えよう！